

地域女性ネット高岡

ホームページ <http://www2.tcnet.ne.jp.abansal/>

通信 第17号

地域女性ネット高岡

広報活動部

2015年3月発行

通算発行51回

Tel 0766-23-6118

FAX 0766-23-6220



(公財)たかおか女性アカデミー代表理事
地域女性ネット高岡会長　辻 やす子

「地方創生」時代の女性活動を

去る三月十四日、半世紀近く待ち望んでいた北陸新幹線が開通。新時代への一歩に、富山県そして高岡市は第一便出発式、開業式や開通日に因んだ三・四人のテープカット等、目白押しのイベントが、前日迄の風雪と凍てつくような寒さが、吹き飛んでいたかのような快晴の下、繰り広げられました。自らも、その行事に臨場し、高岡市の未来が、この新幹線開通によつて、確たるものになるよう住民一丸となり、活動することの大切さを実感した一日でした。

今年は第二次世界大戦から七十年を迎える。齢七十才を迎えた人を「古稀」と呼んだ時代も、今は遠い昔のことのように感じられます。平均寿命も女性八十六・六一才、男性八十・二一才と延伸し、百才も間近であります。

終戦後、選挙権を獲得した女性達は、二年後全国に婦人会を組織し、しっかりと根づかせたことは、戦後歴史の中でも特筆されるものです。

高岡市においても、東外枝さんを中心とに、親を亡くした子ども達への「愛育園」の開園、そして子ども達の育成のための「富山県保育専門学院」の開設など、様々な活動に尽力されました。

さらに昭和四十二年には、高岡市連合婦人会は「婦人会館」を開設。爾来「生活改善」や「男女共同参画活動」などを展開し、歩み続けました。現在は高岡市ファミリー・サポート・センター運営に従事する活動を開中です。

現代社会は、七十年の戦後の歩みを進め

る中、個人主義の尊重、多分野の活動のスリム化等、働く女性の進出に伴なう女性の地位向上や人・ひとの意識改革や問題意識

も次第に多様化し、個々の活動のコラボ化が進展しています。今、呼ばれている「地方創生」とエリアを「小さくしてみたらどうでしょうか?自分の住む地域に人が賑わい、各世代が近距離でコラボし、空家の多くなった自分の住む町をもう一度リフォームし、新しい町に創生していく活動を進める。

その為に現在の活動を見直し、新時代に生きる人づくりを、人口減少社会の進展する中、男女のコラボ活動による次代への絆をしつかり結んでいく。婦人会創立以来の不变テーマ「子育て支援」「環境活動」を、もう一度地域女性活動で考え、実践しようではありませんか!

そして国際社会の中で、近くなった世界とのコラボを進め、現代に生きる私たちは、今世紀末の世界気象の高温暖化等の変化の中で万物が安心して生きていける姿を見据えた協働・共創社会の実現が急務であると思います。その重要な課題を自覚し行動することの再確認が問われてゐる地域女性活動でしょう。

26年度思い出の一コマ

高岡市・ミランドポリ市姉妹都市提携40周年記念親善訪問団に参加



地域女性ネット手づくりエコバッグをプレゼント

(平成26年8月22日～30日)



ミランドポリ市
婦人会の方々と合唱

北陸新幹線開通テープカット 平成27年3月14日



ルプラザ高岡学講座



昭和初期、初の女性弁護士誕生への道を開いた佐伯ふみ氏・県議会議員の池渕正氏など日本を変えた9人の富山女性たち。女性がつらく大変な時代でも富山にはこんな素晴らしい女性の存在があつたこと、そしてたった一人の思いで世の中を動かし変えることができるのだった。

戦後の復興期には、婦人参政権運動が起こり女性議員誕生、女性の社会進出も始まった。

婦人会員はGHQのホスキン大学、全

ての人の意見を聞く大切さ（民主主義）を学んだ。県婦人会館を建てようと、募金やバザーなどで補助金以上の金額を調達し実現させた。こうした努力により、当時の婦人会は何か学べる、新しい情報や未知の世界を教えてくれる、魅力的



講師

社会福祉法人すこやかこども福祉会理事長・女性史研究家

浅生 幸子 氏

地域女性活動の戦後の歴史と今後の展望

第1回 開講講座 5月17日（土）高岡市ふれあい福祉センター

で特別な存在となつた。地域女性の思いや願いを婦人会が実現させていたこの昭和二〇年代から三〇年代、婦人会が一番輝いていた時代だったのではないか。

一九七五年、国際婦人年世界会議へは富山県から約二〇〇名が参加。一人ひとりにとって素晴らしい経験となつた。この頃から「婦人」という言葉は徐々に「女性」に変わっていき、男女平等や女性の地位向上が叫ばれ始めた。

今若い世代は、個人としての生き方と地域（国・県・市）民としての生き方のバランスが変化して、地域との繋がりを大事にする感覚が弱くなっている。この事は婦人会に限らず各々の団体が解決しきれない悩みだが、その原因は戦後教育の問題が一番大きい。

地域と関わりたくない若者たち、ファミリーのことだけで精一杯の働く女性たち、一方で地域のことは元気な高齢者がやるという現代において、婦人会の存在価値をどこに見出せばいいのか、答えは容易には出せないが、前述の先輩女性たちのように一人の思いが世の中を変えることがある。「ピンチはチャンス」と捉えて情熱を持ち、地域を見つめて一步でも半歩でも前進することが大事である。

「女性が貢くなれば日本はもう一度と戦争はしないだろう！」と結ばれた。

福岡地区婦人会 藟道子



議員会館代議士を囲んで



橋代議士国政報告



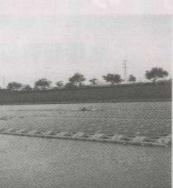
イオンレイクタウン

2日目には、国會議事堂を訪問、参議院決算委員会

利用することで地球環境の保全と人類の未来があることを改めて考えさせられました。

第2回 講座 6月8日～9日

《国内研修 東京・埼玉》環境・防災・政治学習



川越市ソーラーパネル



センターでの説明

にて安倍総理はじめ閣僚の皆さんをまじかに拝顔、与野党の論戦を傍聴しました。沢山のお土産を購入後、最後の訪問地、太陽光発電システムの導入状況の説明を受け、人工湖に浮かんだソーラーパネルを見学。降雪のある富山では考えられないと思いました。

また、市の助成を受け、一般家庭に雨水を貯め、モール内の植物へ自動的に給水する設備など目を見張るものばかりでした。

次は、地上634メートルのスカイツリーへ。雲の上から眺める東京に感激しました。

また、夜には橋代議士をお迎えし、国政報告をお聞きした後、和やかに懇親を深めました。

1日1回、エレベーターを使わず階段を使うことで大きな省エネになります」と言わゆる、日頃の職員さんが「一人

1日1回、エレベーターを使わず階段を使うことで大きな省エネに対する認識の甘さに気づかされました。

今回の研修から自然エネルギーを有効利用することで地球環境の保全と人類の未来があることを改めて考えさせられました。

平成26年度アバンサ

第3回 講座 北陸新幹線開業をみんなで祝おう

ディスカバー高岡 パートⅠ 6月21日(土)

会場 瑞龍寺
講師 富山県郷土史会 会長 太田 久夫氏
演題 「前田家と高岡」

北陸新幹線開業に向け、市民一人一人が訪れる観光客に語れるよう高岡を再認識しようと3回にわたり講座を開催。1回目は国宝瑞龍寺から高岡の歴史を学びました。

県郷土史会会长の太田久夫氏は、加賀藩2代藩主前田利長の菩提寺である瑞龍寺や歴代住職、国史跡前田家墓所などを紹介、加賀藩領の石高の約半分は越中であつたことで越中が加賀藩を支えていたことなど講演されました。参加者35名は瑞龍寺を見学し、成美地区会長の尾崎憲

子さんから、重厚な建築様式や寺にまつわるエピソードなど説明を受け、建立から現在までの歴史に触れました。



ディスカバー高岡 パートⅡ 10月8日(水)

会場 大仏・古城公園
講師 高岡市博物館館長 晒谷 和子氏

さわやかな秋晴れの日、ディスカバー高岡パートⅡ「高岡大仏と古城公園」が開催されました。郷土高岡を再確認し、実践へとつなげるための学習です。

大仏寺角谷庵主さんの案内で堂内を見学の後、秋色に染まった古城公園をウオーキング、市立博物館内の茶室松聲庵にて呈茶をいただき、至福のひと時を過ごしました。
同館にて館長の晒谷和子氏から「古城公園の歴史」について講演をいただき、歴史都市高岡に再度の学びを深めたとても有意義な1日でした。



第4回 修了講座 アバンサルプラザ高岡

ディスカバー高岡 パートⅢ 11月29日(土)

北陸新幹線開通に向けて 高岡再発見!
講師 富山国際大学子ども育成学部准教授 村上 満氏

アバンサルプラザ高岡学講座修了講座を同プラザにて開催。参加者79名は五グループに分かれ、北陸新幹線開業に向けて、高岡のお宝を掘り起し、魅力を再発見、まちづくりへ生かしたいと意見交換。グループ代表者が発表しました。

講師の村上氏が「みんなが資源・みんなで支援していく高岡のやさしいまちづくりのレシピ」と題して講演されました。一部では村上氏が「みんなが資源・みんなで支援していく高岡のやさしいまちづくりのレシピ」と題して講演されました。

グルーブワーク

① 地域の人物（過去と現在）

観光に重点を置き、県内外にアピールする。市民一人一人が理解を深め学習することが必要。

② 地域の建物（寺・神社・公園）

全国にPRできるよう、知識を高める。

③ 地域の名物（お菓子・伝承料理）

サービス品（無料）を提供、心のこもった「おもてなし」を目指す。

④ 地域の行事（祭り・三世代交流）

・メディア、観光事業を通して、高岡をより一層PRする。
3世代体験ツアーや企画を強化、地域行事を市内外にアピールする。

⑤ その他（全体から）

・高岡をまず自分自身で体験・体感し、子ども達・知人等に発信する。

平成26年度 地域女性ネット高岡 年間事業

- 5月17日 平成26年度総会
 5月27日 「かたかご苑」芋苗寄付と植え付け
 6月19日 金屋町御印祭 参加
 6月23日 たかおかエコ活動を進める市民の会総会
 7月6日 富山県婦人会指導者地区別研修
 8月3日 古城公園つづじヶ丘清掃
 8月10・24日 高岡朝市出店
 10月3日～5日 高岡万葉まつり万葉集全20巻朗唱の会
 10月10日 「かたかご苑」芋掘り交流会
 10月25日 ウィング祭 パネル展示
 11月23日 愛育園文化祭
《平成27年》
 1月10日 「日本海高岡なべ祭り」参加
 1月11日 新春のつどい
 ●エコ活動推進啓蒙実践活動（年2回）
 　（たかおかエコ活動を進める市民の会との連携）
 ●エコ・ストア制度周知普及活動
 ●美しいまちづくり連絡協議会特別清掃協力 年間
 ●毎月8日 地区会長会議開催

平成26年度 役員紹介

顧問	白崎 幸子（古府）
会長	辻 やす子（伏木）
参与	樋詰 和子（西条）
参与（福祉推進部長兼務）	串田 則子（成美）
副会長（総務・広報活動部長兼務）	小泉 弘子（古府）
副会長（書記兼務）	宮崎友理子（福田）
副会長（会計・環境改善部長兼務）	高島 正子（立野）
生涯学習部長	秦 美代子（牧野）
会計監査	杉澤 泰子（中田）
会計監査	米澤 陽子（国吉）
地区会長	尾崎 憲子（成美）
	蓑 道子（福岡）

地域女性ネット高岡個人会員募集

あなたも共に前進（アバンサル）し、
 学びを深めませんか!!
 ご賛同いただくだく方、ご参加ください。

年会費（通信費）1,000円

地域女性ネット高岡 コーラス・ソワニ工会員募集

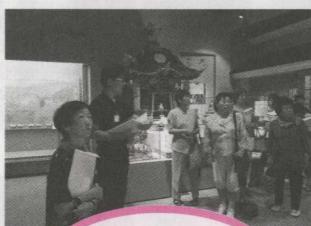
一緒に楽しく歌いませんか!!
 アバンサルプラザ高岡に集って楽しく歌っています。
 指導 藤沢 則子 氏（成美校下在住）
 毎月第1・第3火曜日 19:30～21:00
 協力会費 1ヶ月 1,500円



5月27日
かたかご苑
芋苗植え付け



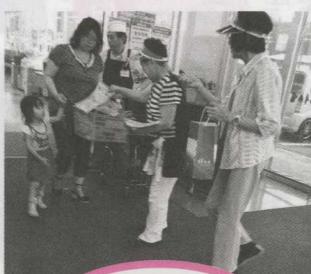
5月17日
総会



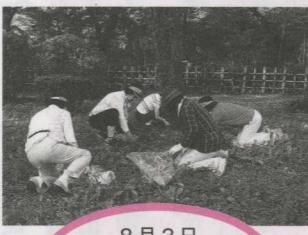
7月6日
富山県婦人会指導者
地区別研修



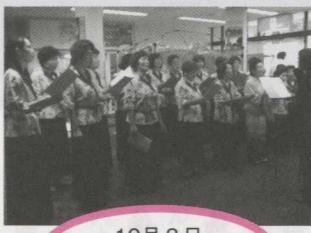
6月19日
金屋町御印祭
弥栄節町流し



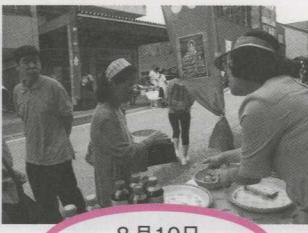
8月8日
エコ活動推進啓蒙
実践活動



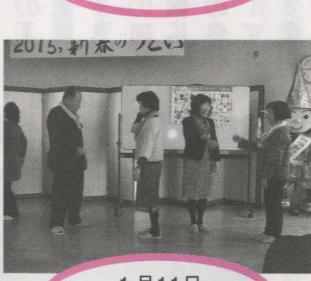
8月3日
古城公園つづじヶ丘
清掃



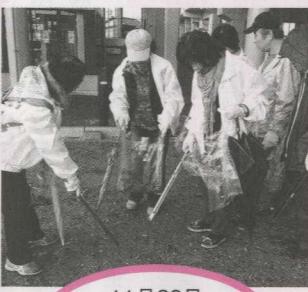
10月3日
朗唱の会



8月10日
朝市出店



1月11日
新春のつどい



11月30日
新高岡駅
おもてなし清掃

お申込み・お問い合わせ

アバンサルプラザ高岡 高岡市昭和町1-2-9
 TEL 0766-23-6118 FAX 0766-23-6220

ホームページ アバンサルプラザ高岡

検索